革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

熊本高専だより

KUMAMOTO KOSEN

No.32

2022.3
春号
SPRING

今号のテーマ

卒業・修了を迎えて

Contents

01 巻頭のことば
02 卒業生・修了生に向けて
05 卒業生から
08 修了生から
09 学生会から
10 寮生会から
11 退任教職員からのメッセージ
13 進路速報
17 各種大会・受賞報告
24 特集
25 諸だより
26 News&Topics

コロナ禍の2年間と熊本高専の今後

校長　荒木 啓二郎

博多松囃子

2020年度と2021年度は、新型コロナウイルス感染症 COVID-19のために本校の活動が大きく影響を受けました。休校、全面的な遠隔授業、部分登校による対面授業と遠隔授業の組合せなどを経て、2020年度後期からは、基本的に対面授業を実施しています。学生の課外活動も全面禁止や、いろいろな制限の下での活動をお願いし、学校行事も中止したり規模や参加者を大幅に制限したりして、学生諸君には高専生活を満喫して貰うことができずに心苦しく思います。

そのような中でも、ICTを活用した遠隔授業の準備と実施、COVID-19に限定せずに状況に応じた柔軟な授業形態の整備、国際寮(熊本キャンパス明和寮国際棟)の新築、各種コンテスト等での学生の活躍、リモートやハイブリッド開催でのイベントや会議の実施など、高専での活動に変化が現れています。

個人的には、東京への出張もほとんどリモートとなり、朝早くから空港に行って日帰り出張の面倒や疲れから開放されています。コロナ禍が落ち着いても、毎月の会議で東京に出掛けていく気になるには時間がかかりそうです。

高専機構では、この2年間、学生指導や教育に関して様々なメッセージを発して、国立高専の改革を推し進めています。それぞれ個別に対応する暇もないくらいに矢継ぎ早に発せられていますし、相互に関連もしておりますので、熊本高専の将来を見据えて根本的な改革について議論・検討して頂いております。

また、台湾の半導体メーカーTSMCが熊本県菊陽町に工場を建設するというので、俄に騒がしくなってきました。地域と連携して社会に貢献することを標榜している高専としては、きっちり対応する所存でありますが、熊本高専だけではカバーできませんので、九州沖縄地区の高専は勿論のこと大学も含めた産官学での連携協働で対応すべく、関係諸機関と情報交換や調整をすすめているところです。ここで貢献できなければ、熊本高専の将来はないという覚悟で臨みます。そのような柔軟で機動的な対応が可能な高専を今後目指して、上記の根本的な改革を行おうとしているところです。

皆様方からもご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

卒業・修了生に向けて

熊本キャンパス奨学後援会
会長　山下 知之

熊本高専の本科卒業ならびに専攻科修了を迎える皆様、おめでとうございます。奨学後援会を代表し心からお祝い申し上げます。

今年度も世界的な感染症の影響で戸惑いや不安な日々の中、オリンピックや熊本高専も出場したロボコン全国大会が国技館で開催されるなど多くの感動が生まれ、自分の好きなことに意欲的にそして謙虚にやり続けてきた人がチャンスをつかみ成功していると強く感じました。

皆様も高専での様々な活動・生活の中で仲間と学び得た知識、経験をもとに、次の新しい環境でも何事にも謙虚に学ぶ事をやり続けて下さい。そうして小さな成功を積み重ね、モノづくりの楽しさ・やりがいを知り、いつか大きな花を咲かせるチャンスをつかんで欲しいと思います。

これからも私達は、やり抜く事が出来る皆さんの輝ける未来を応援し続けていきます。

バージョンアップを止めない

八代キャンパス後援会
会長　右谷 寿浩

卒業生・修了生の皆さん、おめでとうございます。また、保護者の皆様お疲れ様でした。

高専在学中、世の中では今まで体験したことのないようないろいろな出来事が起こり、大変苦労されたことと思います。それでも、皆さんは未来に向かって頑張ってこられました。入学時と比べ、大きく成長されたことでしょう。また、今年1月政府の発表で九州にある8高専に「半導体製造・開発」の専門教育課程を開設し、半導体専門人材を育成する拠点とするとのことで、学校も新しい知識と技術を学べるようバージョンアップされます。

皆さんは、様々な道に進まれますが、これからも歩みを止めることなく、バージョンアップして行って下さい。応援しております。

最後になりますが、校長先生はじめ教職員の皆様、ご指導大変ありがとうございました。

ご卒業おめでとうございます

情報通信エレクトロニクス工学科
5年担任　石橋 孝昭

情報通信エレクトロニクス工学科の卒業生の皆様、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。高専生活を終えて安心されているとともに、高専卒業生としての自信や誇りを持たれていることと思います。

学生の皆様とは、一年生の時から授業を担当していたため、とても長く接していたように感じられます。コミュニケーションタイムではとても楽しませていただきました。クラスはとても居心地の良い場所でした。そこでの貴重な時間を共有できて、成長されていく姿を間近で見られたことに感謝の気持ちで一杯です。卒業年度では、学生の人生のとても大きな決断に関わらせていただくことができました。私自身にとっても非常に大きな自信となりました。これからそれぞれの場所で様々な成長をされると思います。皆様の活躍を伺えることを楽しみにしています。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、教育、研究、学生指導に対してご理解とご協力をいただきました。おかげさまで担任を務めることができました。誠にありがとうございました。

熊本高専を卒業する皆さんへ

制御情報システム工学科
5年担任　中島 栄俊

本科を卒業する卒業生ならびに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆さんが2年生の時に、3年担任になることを打診され「この子たちの担任ならやりたいな」と思ったことを今でもよく覚えています。皆さんと多くの時間を共有し、様々なイベントを通して成長させてあげたいと思っておりましたが、3年次修了間際に発生した新型コロナウイルスの影響もあり、その多くが中止となってしまいました。特に4年次に行く予定でしたシンガポール研修が実施できなかったことが残念でなりません。一方で社会全体が大きく変化し、時代が動いていく中でこの波を乗り越えることができたという経験は、一つの大きな財産となって皆さんの今後の人生に生かすことができると思っております。

同じ学校・クラスで学んだ友達は将来にわたって付き合えるかけがえのない仲間です。これから先、進学・就職・転職・結婚・子育てなどの様々なシーンで、楽しい時も厳しい時も大切な絆となって、皆さんに力を与えてくれるはずです。何かあったときにぜひこの絆を思い出して大切に紡いでいって欲しいと願っています。

皆さんがいつまでも笑顔とともに健康でいられることを願っております。

卒業する皆さんへ

人間情報システム工学科
5年担任　赤石 仁

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様には、心よりお慶び申し上げます。

振り返ると、コロナ禍により4年次にはインターンシップ等への参加の制限など様々な制限がありました。そして5年次でもシンガポールへの英語研修旅行が中止となってしまった事は今でも心残りです。このメンバーでシンガポールに行ったら、どのようになっただろうかと想像することもあります。

私にとって4、5年の担任は初めての経験でしたが、皆様の協力で何とか務めることができました。皆さんは全体的に欠点科目数も少なく、提出物の提出状況も過去に例をみないほど優秀であり、進路も極めて早く決定されていました。私の失態をカバーしてもらったことも度々です。この皆様の優秀さ、そつのなさは、おそらく努力と、級友と共に助け合った成果かと思います。社会は、学校よりは理不尽で、公平ではない生存環境かと思います。そこで助けの一つとなるのは、この人のつながりです。卒業してからも高専の卒業生同士で助け合い、様々な荒波を乗り越えていってくださればと思います。

卒業生に贈る言葉

機械知能システム工学科
5年担任　山下　徹

5MI学生諸君ならびに保護者の皆様、この度はご卒業おめでとうございます。

このクラスとは3年生から3年間、担任として関わらせて頂きました。振り返ると、3年生の学年末からの新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、学生の皆さんには授業のほかにインターンシップや海外研修旅行、部活動など、これまで当たり前にやっていた将来に向けての貴重な経験の機会に制限をかけざるを得ない状況が続いたことが、担任として残念でなりません。さらに5年になっても収束には至らず進路選択においてもその影響は続きましたが、そのような中でも、皆さんが自分の将来について「自ら考え」、行動する様子を見ることができたことが、暗闇に射す一筋の光のように心強く感じられました。

卒業後は、それぞれが自分の夢を実現するため、異なる世界に旅立っていくことになります。未知の世界への歩みは、最初は不安で一杯でしょうが、自ら考え行動していけば、いつしか不安は期待や自信に変わり、夢の未来へと近づいていくと信じています。

皆さんのこれからの活躍を祈っています。

卒業おめでとう

建築社会デザイン工学科
5年担任　浦野 登志雄

皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんはコロナ禍のもとでの卒業という経験をしました。

感染対策と授業の両立という課題を前にして、最初はウイルスへの不安ばかりだった私達も、なんとか対面授業を継続することができました。学生の皆さんには色々な意味でご心配をおかけしましたが、4年次のオンライン授業では、私自身試行錯誤しながら授業のための教材づくりに追われていました。最初は不慣れだった学生諸君もネットを通じて活発に授業に参加してくれました。

感染予防も、ワクチン開発も、オンライン授業も、克服するための手段がある現在だからこそ、この被害の大きさなのであって、もし全く克服する手段が無い時代に発生した場合にどうなったかを想像すると、影響の大きさや終息までの期間がまるで異なるに違いないと推測することができます。

これから旅立っていく皆さんには、大変な時間を一緒に乗り越えたからこそ得られたものが、何年か後に振り返った時にきっと明らかになることでしょう。皆さんの将来に大いに期待しています。

卒業生の皆さんへ

生物化学システム工学科
5年担任　浜辺 裕子

卒業生、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

色々と気苦労が絶えなかった2年間でした。休校、オンライン授業、各種行事の中止を経験しました。通常の学生生活が送れず不遇な2年間だったと言えばそれまでです。学校に来て学び、友人と語らい、課外活動に取り組むという普通の日常がいかに幸せなことか改めて実感できたことは良かったのかもしれません。この2年間、通常とは異なる学生生活だったからこそ、学生自身が思っている以上にたくましく、しなやかに成長できたと感じています。ピンチはチャンス、問題があるからこそ、自ら考え、乗り越え、成長するのだと思います。熊本高専生の強みは、素直で型にはまらないしなやかさと、行動力だと思っています。健康第一に、他者を思いやる優しさをもって、それぞれの選んだ進路先で日常の幸せを切り拓いてください。

修了生に贈る言葉

電子情報システム工学専攻
専攻長　柴里 弘毅

専攻科生の皆さん、修了おめでとうございます。新型コロナウイルスの影響を大きく受けた2年間の専攻科生活だったと思います。しかし、このような逆境を乗り越え、皆さんが目指す進路の実現に向けて、本当によく頑張ってこられました。

コロナ禍において、リモートワークや遠隔授業も定着し、ＩＣＴ技術の重要性がさらに注目されるようになりました。また、台湾の半導体製造企業ＴＳＭＣの熊本への工場建設も決まったことから、電子情報系技術者への期待はさらに高まるばかりです。専攻科修了後におかれましては、さまざまな環境にしなやかに適応し、これまで培われた技術を基礎としつつ新たな視点で問題を解決し、グローバルに新しいものを創出されていくことを確信しております。

今後の皆さんの益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

修了生に向けて

生産システム工学専攻
専攻長　湯治 準一郎

専攻科修了、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

あっという間に過ぎた2年間はいかがだったでしょうか。コロナ禍によって様々な活動にも、大なり小なり、影響が生じたことと思います。移動や会食の制限、遠隔での授業や就職活動、外出時はマスクを付けて過ごすといった思い通りにいかない、前例が無いことを多く経験しながら、修了に辿り着きました。2年前は不安の中でのスタートでしたが、逆手にとれば新たな気づきや学びもあり、自ら考えて工夫する力がより一層身についていると思います。友達や家族、先生方の多くの支えがあったことにも気がつくでしょう。

皆さんの並々ならぬ努力に敬意を表すとともに、4月からの新しい環境では、貴重な経験で得た知識や皆さんそれぞれの強みを活かして活躍されることを願っています。

挑戦する旅への期待

熊本電波同窓会
会長　原田　茂

熊本高専本科卒業生、専攻科修了生の皆さん、おめでとうございます。皆さんの門出を心からお祝い申し上げます。これからそれぞれが新たな道を歩むことになりますが、熊本高専で学び、成長できたことに感謝の心と誇りを持って旅立ってもらいたいと願っています。

現在、人類は大きな危機に直面しています。気候変動や自然災害、環境問題、人権問題、人口減少と高齢化、国際情勢の変化、そして新たな感染症拡大など、数多くの問題があります。今後、社会の急速な変化が予想されますが、多様な人々と手を携えて、分断を連帯に変革し、高専で培った能力を発揮していくならば、困難な状況も必ず打開できると信じています。高専で学んだ人は課題に果敢に挑みゆく人なのです。

皆さんの御活躍を祈念し、お祝いの言葉とします。

エール

熊本高専八代キャンパス同窓会
楷友会会長　亀田 英雄

卒業生・修了生の皆さん、この度はおめでとうございます。新たな旅立ちに心からお祝いを申し上げます。

皆さんの学生時代は新型コロナウイルスの出現、地球規模での環境変化等あり、思い描いていたものとは違う過ごし方になったかもしれませんし、思うような進路を取れなかったかもしれません。それでもこんな時だからこそ経験出来たこともありますし、何を大切にしなければならないのか改めて考えることもあったのではないでしょうか。

冬来たりなば春遠からじ。逆風でも恐れず前へ進もう。その先には必ず見えてくるものがあるし、強い向かい風ほど高く飛べるものだから。これまでの常識に囚われず想定外は当たり前と捉え、これからの社会を切り開いてほしいとエールを送ります。そして心豊かに人生を楽しんでもらいたいと願い、活躍を期待しています。

誇りに思える5年間

情報通信エレクトロニクス工学科
5年　田邉 柊磨

私は、高専で過ごした5年間と今の自分を誇りに思います。

自由な校風に惹かれ熊本高専に入学した5年前、とある先生に「自由という名の自己責任」という言葉を教えられました。浮かれた自分の緩んだ心を引き締める言葉でした。自由に勉強ができるし、勉強をしないこともできる。5年間を意味のあるものにも、ないものにもできる。自由の恐ろしさを感じた私は自分を奮い立たせ、5年間を意味のあるものにできました。

高専には個性豊かな人が多く、毎日が刺激の連続でした。信じられない程はんだ付けが早い友達や、信じられない程レポートの提出期限が早い先生など、挙げだしたらきりがありません。毎日色んな人と触れ合い、お互いを高め合いました。そんな愉快な仲間たちと共に挑んだクラスマッチや電波祭などの思い出は、私の財産です。5年間で得た成績や資格ももちろんですが、それよりも深く、確かなものとなって私の中に残り続けるでしょう。

高専生活では、たくさんの方に助けられました。感謝してもしきれません。4月からそれぞれの道を歩むことを少し寂しく思いますが、いつかまた皆で集まった時には、行けなかったシンガポールへ旅行に行きましょう。本当にありがとうございました。

『普通』じゃなかった学生生活

機械知能システム工学科
5年　平野 裕喜

卒業を迎えるにあたってこの五年間を振り返ってみると、最初に頭をよぎったのが「普通じゃない高校生活送って見たくない？」というフレーズです。これは三年前の『おもしろサイエンス・わくわく実験講座2019』で張り出されていたオープンキャンパスの予告ポスターにあった言葉です。

二十歳の私にとって五年間というのは人生の四分の一にあたります。そう考えると、四分の一を過ごした学生生活に区切りをつけるのは感慨深いです。

振り返ってみると、八代キャンパスに入学して良かったと思うことがたくさんありました。自由な校風や自主性を重んじた部活動・学生会活動が挙げられますが、最も大きいのは受験のためではない、型にはまらない学習ができたことです。紙幅の都合上詳細は述べませんが、私が文系理系の区別は意味がないことをこの五年間で気づけたということがすべてを物語っていると思います。

しかし当然ですが、いくつか後悔した事もあります。その中で、一つ大きなものはやはり第四学年での研修旅行が中止となったことです。私自身、高校時代に無かった修学旅行の代わりのように思っていたので現在進行形でとても残念に感じています。

そうした後悔はありますが、私はこの学校を選んで良かったと感じています。なぜなら、授業、学校行事、部活動、学生会活動、全てにおいて「普通じゃない」生活だったからです。このような生活を実現してくださった学校関係者、学生の皆さんには感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

この5年間で得た繋がり

制御情報システム工学科
5年　小松野 海斗

私は同じ中学校から高専に入学した人が居なかったので知り合いゼロからの高専生活でした。その時に臆せず、後ろの席にいた小森君に話しかけることで1人の友人を作ることができました。今5年間を振り返ると、その小さな繋がりが5年の月日を過ごして大きく拡げることができたと感じます。

高専生活では試験、実験、課題と1人ですべてこなすには難しいことが多くありました。その度に友人と教え合い競い合うことで乗り越えることができました。クラスマッチや宿泊研修などを通していつもの授業だけでは手に入らない思い出を作りました。電波祭では部門に所属することで学年の違う学生と活動を行いました。様々な経験をすることで交友関係は拡がり、繋がりはより強くなっていきました。

5年生はこれからそれぞれの道に別れていくことになりますが、この5年間で得た繋がりは続き、今後の人生において生きていくと信じています。皆がそれぞれの人生を歩む中、また会う日を心から楽しみにしています。

学び多き5年間を振り返って

建築社会デザイン工学科
5年　光永 周平

中学校の進路説明会で高専に建築を学べる学科があることを知り、帰宅して「高専に行きたい」と言ったのがつい昨日のことのように思い出されます。早くから自分の好きな建築を学ぶことができる嬉しさと高度な専門科目を理解することができるのかという不安を抱えて新たな道を踏み出してから早5年。ついに高専の学び舎を去るときが近づいてきました。

5年間を振り返るとデザコンの本選に出場できたことや日奈久レンガ倉庫跡の広場づくり、鶴之湯旅館の再生など多くのプロジェクトに参加したことが思い浮かびます。学校の授業だけでは学ぶことができない貴重な経験を積めたことは、私自身の建築に対する関心を深めていくことに繋がりました。

また、多くの知識を学び、経験を積むことができた過程で十人十色のたくさんの人々に出会いました。先生方やクラスメイト、プロジェクトで出会った人々と建築について話し合い、様々な考えや知恵を学ぶことができ、多くの刺激を貰いました。

5年間で建築の学びはもちろん、人間性も高めることができました。このレベルアップは決して自分一人で成し得たことではなく、多くの人の支えがあったからこそだと思っています。これからもお世話になった方々への感謝を忘れることなく、「建築家になる」という夢に向かって努力していきます。貴重な5年間をこの熊本高専で過ごすことができて本当に良かったです。ありがとうございました。

高専と自分

人間情報システム工学科
5年　石山　遼

２０１７年春、右も左も分からない中、高専での生活が始まりました。人を助ける技術者になるという漠然とした思いを胸に、入学式を終えた記憶があります。その後は赤点60点の試験、度重なるレポートに追われ早くも五年の月日が経ってしまいました。

寮の共有スペースに同級生と集い、必死に過去問を解いていた試験前夜を懐かしく感じます。この日々の学びの積み重ねは、さらなる学習意欲を駆り立て大学編入を決心するきっかけの一つとなりました。

新型コロナウイルスによってマスクが日常化してしまい、クラスメイトの顔の下半分を忘れてしまいそうになる時もありましたが、台湾研修やクラスマッチで優勝したあの瞬間の思い出は忘れることはないでしょう。電波祭の女装コンテストに参加し、予選で敗退したあの瞬間も忘れません。高専という環境で、専門的な知識を有した先生方、同じ志を持つ友人に出会うことができ、多くの学びを得ることができました。

在校生の皆さん、この熊本高専という学舎には、あなたを成長させる材料は揃っています。あとは、あなたがどう学び、どう過ごすかはあなた次第です。関心の持てるものはとことん突き詰めてください。それは強みへと変わり、個性となります。

卒業生の皆さん、これからは各々の進路を歩み、数十年後の同窓会ではマスクなしで思い出話を語り合いましょう。

卒業するにあたって

生物化学システム工学科
5年　山本 南菜美

５年前高専に入学してからあっという間に卒業という日を迎えました。この5年間を振り返ると自分自身が思う以上に成長できた時間であったと思います。入学して見えない電子を構造式で表して反応を覚えた日、実験を行うための濃度計算に悩んだ日、レポート提出日のみんなの疲れた顔、普通の高校では学べない高専の授業に戸惑いながら友人と勉強したことを覚えています。今では自然にできるようになったことが増え、自分では気づかぬうちに力がついていったのだなと思います。これもわかりやすい資料での授業、質問に行ったら分かるまで教えてくださった先生方のおかげであり本当に感謝しています。

学校生活では友人たちに多く支えられ、学生会で運営した高専祭や球技大会、定期テストを乗り越えることができました。4年時には新型コロナウイルスの影響で研修旅行の中止やオンライン授業への切り替えなど戸惑うことはたくさんありましたが、何でも相談できる友人がいたから毎日の学校生活も楽しく過ごすことができたのだと思います。このような何気ない毎日はこれから先もう一生経験することができないのだと思うと、この5年間がいかに貴重であったのかを感じます。これまでの経験と友人たちとの多くの思い出を自分自身の糧としながらこれからの人生を楽しく実りのあるものにしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

ぼくの青春

電子情報システム工学専攻
2年　小西 隼太

高専生活7年間というものは、長いようで短く、色濃い生活が今では懐かしく感じます。高専生活を振り返ると、友人や環境にも恵まれ、様々な経験や学びから内面的に大きく成長できたのではないかと思います。

私自身、この高専での7年間を言い表すと、「努力」という言葉が相応しいと思います。本校入学当時の自分は、努力をしている自分が格好悪い、最低限の努力で最大限の力を発揮したいなど、努力をして失敗することを恐れていました。専攻科では、特別研究や試験など日常の中に努力する機会があり、様々なことに挑戦してきました。努力して結果が出ると、自信になり、努力して結果が出ないとしても、経験が残ります。努力の方法は個々人それぞれですが、失敗を恐れずに挑戦することが重要です。しかし、努力の方向を間違ってしまうと、時間と労力が無駄と感じることもあり、物事を柔軟に捉え、効率的に歩むことも重要であると学びました。

これから、私自身、大学院に進学するように、学生一人ひとりが新たな挑戦を迎えます。社会の波にのまれ精一杯の努力が報われないことも暫しあるでしょう。小さい受け皿にとてつもなく大きな情報量がのしかかり、割れそうになることもあると思います。しかし、7年間の苦楽を共にした仲間を思い出し、目標高く、共に挑戦し続けたいと考えています。

最後になりますが、またみんなと笑って話せる日を楽しみにしています。本当にありがとうございました。

修了を迎えて

生産システム工学専攻
2年　今村 隆輝

専攻科を修了し、7年間の高専生活も終わりを迎えます。本科時代はなんでもやりたいことをやりたいように幅広くやっていた反面、専攻科では相談して決めた目標に向かって「毎日」、「コンスタント」に「全力」で頑張ってこれたように思います。

高専生活7年間は本当に楽しい思い出ばかりでした。特に専攻科では2年間のまとまった時間があったため諸々の締め切りや節目に邪魔されることなく集中して研究に取り組むことができました。自分が研究を行うにあたり指導教員である木原久美子先生には充実した研究環境の整備、手厚い文章指導、日々の遅くまでのディスカッションなど思いやりのあるかつ厳しい研究指導をしていただきました。

このような充実した環境で努力できることは当たり前のことではありません。自分が努力できるのは、研究室を主宰し研究活動の場所を与えてくれた木原先生、これまでの高専生活の中で技術や基礎学力を教えて頂いた先生方、身に着けた技術を実務の中で実践する力に変えて頂いた高専外の大人の方々、日々の生活を本当に楽しく充実したものとしてくれた同級生、多方面に尖った力を伸ばし多くの刺激を与えて頂いた先輩・後輩の方々、そして何より、生活・経済面ともに何一つ不自由なく生活させて頂いた両親のおかげであります。今の自分を造ってくれた全ての人に感謝し、これからも努力し次の世代へ還元していきます。ありがとうございました。

学生会を代表して

八代キャンパス学生会会長
機械知能システム工学科
4年　川口 裕仁

令和3年度、学生会会長を務めました、機械知能システム工学科4年の川口裕仁です。

この一年間、会長という立場で過ごし、様々な経験をさせていただきました。学生会としても、高専祭で初めての試みであるキッチンカーの招待などが大成功で終わることができました。他にも有名人を招待したり、昨年度と同様に高専祭の様子を配信したりするなど、様々な取り組みをしました。この高専祭が皆様の記憶に残るものになれば学生会としても非常に嬉しく思います。高専祭に関わってくださった学生会役員、また実行委員の皆様に感謝申し上げます。

さて、今回のテーマは「卒業・修了を迎えて」ということですが、私自身高専に入学してからもう約4年が経つと考えると、時の流れは早いものだと感じます。また、5年生が間もなく卒業ということで、寂しく思います。私がこの学校に入学してすぐ、勉強の面で行き詰まったり、寮生活などで分からないことがあったりすると、優しく丁寧に教えてくださいました。私から見た5年生は、とても頼りがいがあり、優しくて面白い先輩ばかりです。卒業したら先輩方の進路は様々で、このご時世ということもあって中々全員で集まることは難しいと思いますので、残り少ない学校生活を精一杯楽しんでほしいと思います。私も残り約1年間、全身全霊で楽しみます。

卒業生へ向けて

熊本キャンパス学生会長
制御情報システム工学科
4年　藤野 叶大

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して心からお祝い申し上げます。

さて、私たち在校生は先輩達にはたくさんの事を教えて頂きました。私自身、バスケットボール部に所属したり、学生会に所属したりと先輩達と関わる機会が多くありました。部活動でも学生会活動でも私が困ったり迷っているときには先輩達は優しく教えてくださったり一緒に楽しく活動してくれたことを強く覚えています。特に心に残っている事が2つあります。1つ目は部活動での事です。初心者の私が練習中などうまくプレイできなかったときにはどうした方がよくできるのかなど教えてくれたり、部活終わりにカレーを食べに連れて行ってくださったりしました。そんな部活中だけでなくプライベートでも仲良く接してくださる先輩達が大好きで憧れです。2つ目は学生会活動です。今年はコロナが少し落ち着いてきた年のようにも思えましたが様々なことがありイレギュラーな1年だったと感じました。そんな中でも先輩達は一生懸命に何とか楽しくしようと頭を抱えていたのをよく拝見しました。とても難しい1年だったのにも関わらず、こんなにも楽しい1年、楽しい学生会活動を行えたのは先輩達の努力のおかげだと思っています。そんな先輩達の背中を見てきたので、去年の学生会を超越する勢いでより良い学生会にしていき、より良い学校にしていきます。

最後になりますが、卒業生のみなさんのこれからの活躍と健康を祈念いたしまして、私からの代表の挨拶とさせていただきます。

寮生会を代表して贈る言葉

八代キャンパス八龍寮寮長
機械知能システム工学科
4年　本田 武蔵

先輩方、御卒業御修了まことにおめでとうございます。

寮内での先輩方は、いつも元気いっぱいで、また、仲が良い様子を目の当たりにしてきて、羨ましい気持ちで私達も過ごしていました。1年生のとき、右も左もわからない私達に、学生寮での過ごし方や当番のやり方を丁寧に優しく教えて下さいましたことは、今でも覚えております。その経験をもとに、私自身も、先輩方に倣って後輩たちには優しく接しようと心に決めて過ごしております。

寮長の立場として、寮役員の先輩方には、本当にお世話になりました。先輩方は、今年度からの寮生主体の寮運営への転換として、特に「ウェルビーイングが高い寮」を目標として、様々な改革に取り組んでこられました。コロナ禍での制限が多い中、寮生のストレスを軽減するために寮内持込品の緩和を実現したことは、私にとっても嬉しい出来事でした。私も、先輩方を倣い、これからも「ウェルビーイングが高い寮」を目指した寮運営に取り組むことを約束致します。現役寮役員一同、更に精進致します。

寮生活では、特に昨年からはコロナ禍もあり、風呂や食事の時間制限や人数制限など、寮生活が大きく変化してしまいました。その中でも、仲間と共にたくさんの苦難を乗り越えた先輩方は、きっと社会でも活躍してくれるはずです。新天地での御活躍を応援するとともに、健康には十分にお気を付け下さることを心より祈念致します。

寮生会を代表して

熊本キャンパス明和寮女子寮長
情報通信エレクトロニクス工学科
4年　竹井 優奈

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私が高専に入学し早四年。身近に感じられていたその背中を終ぞ追い越すことは出来ないまま、皆さんが卒業していくことに一端の寂しさを感じずにはいられません。しかし同時に、先輩方を追いかけ続けた決して長くはない時間、教えていただいたたくさんの学びは、私含めすべての在校生の大切な記憶となることと思います。

当時一年生だった私は、右も左もわからない中不安でいっぱいでした。けれど、寮で明るく出迎えてくださり、時には厳しく、だけどいつも優しく寮でのこと、学校でのこと、それ以外にも多くのことを先輩方は教えてくださいました。今、私は先輩方に教わったことを後輩に伝えていく側となり、その難しさを実感すると共に先輩方へまた改めて尊敬の念を抱かずにはいられません。言葉にしてもなお足りないほど、先輩方への感謝の気持ちで胸がいっぱいです。

先輩方から受け取ったバトンを次にしっかりと繋げていくために、これからも明和寮のために何が出来るかきちんと見極めて、先輩方に胸を張れるよう尽力していきます。

そして、先輩方がご卒業されたあとふと明和寮を思い出したとき、「素敵な場所だった」言える場所であるよう願っています。

最後になりましたが、寮生会を代表し皆さんの門出を慎んでお祝い申し上げるとともに、新たな道を歩き出した皆さんのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

退任教職員からのメッセージ

校長を退任するにあたって

校長　荒木 啓二郎

博多祇園山笠

２０１８年４月に熊本高等専門学校の校長に着任して、早くも４年が経ち、２０２２年３月末で定年を迎えて退任いたします。大学から高専に移り、最初は熊本高専のことも高専自体のことも何も知らずに、日々高専について学ばせて頂きました。着任早々いきなり高専体育大会九州沖縄地区大会当番校の校長として、様々なところに引っ張り出され、他の行事もあったため７月８月は土曜・日曜に休むことがほとんどできなくて、腰痛や結石など後の体の不調に繋がったように感じています。その替り、これまで経験したこともない素晴らしい場面に立ち会わせて頂きました。えがお健康スタジアムやアクアドームくまもとなどの立派な競技会場で、フィールドやプールサイドまで入らせて貰い、学生の真剣な競技に感銘を受けました。早い時点で、学業や研究だけでない高専生の頑張りを間近に見ることができたのは幸いでした。

２年が経つ頃、高専にも慣れてきた矢先に、全世界的なコロナ禍の発生です。教職員も学生・保護者の皆さんも長期間に亘って、様々な制限の下、大きなストレスを伴って神経を使いながら学校活動を維持してきています。教職員の皆さんのご尽力と学生・保護者のご理解ご協力によって、なんとかコロナ禍に対応することができております。ひとえに教職員や学生・保護者、皆様のお陰です。心より感謝申し上げます。

熊本高専は、２００７年10月に統合して以来、統合校ならではの課題に取り組まねばならない宿命を背負っております。文科省の設置基準に準拠した教員人員枠、２キャンパス間の効果的な連携・協働、社会や地域の要請に応えるべく将来を見据えた抜本的な改革、など。教職員の皆様の意識と意欲によって、課題に取り組んで着実に進歩を遂げられることを祈念しております。

教職員、学生・保護者、後援会、同窓会、地域の企業や自治体の皆様から在任中に頂きましたご厚情に心から御礼申し上げますとともに、熊本高専ならびに皆様の益々の弥栄をお祈り申し上げて、退任の挨拶とさせて頂きます。今後は、熊本高専応援団の一人として、高専生やＯＢ・ＯＧの皆さんのご活躍を楽しみにしています。

退任は寂しい…、人知に期待！

事務部長　千葉 直樹

今年は『寅年』です。

昨年末に広報戦略室から「退任するにあたって(仮題)」というテーマで『熊本高専だより』への掲載依頼を受けましたが、実は私にとって〝退任〟以上に重要なことは、冒頭記載した本年２月が、私にとって生を受けた後の５回目の寅年を迎えることなのです。そうなんです！この３月末で定年退職を迎えます。

これまで文科省を含め関係機関を延べ十数機関異動してまいりましたが、直近６年間は隔年毎に三つの高専に勤務し、その公務員人生(正確には国家公務員及び団体職員人生ですが…。)の締括が、どのような縁なのか熊本高専なのです。

この縁を踏まえ、これまで異動してきた経験と思いとして退職を前にした今の私の心境を記します。異動経験の少ない皆さんは、こんな考えもあるのか程度に思っていただければ幸いです。

ご承知の通り人間と同様に高専という組織は生き物であり、これまで時代と共に着実(？)に進化し、その成長はトップの牽引力等による所もありますが、実際は現場の柔軟な思考と勇気ある行動、そしてチーム力に負うところが大ではないかと私は思います。そして少なくとも一貫して皆さんが学生など関係者に対し、今できる最高のサービスを従前の例に囚われず効率的な方法で提供しようと、常に試行錯誤しているかどうかに係っていると思います

コロナ禍の中、ＩＴなどの活用と人知により、民間等ではコロナ以前の社会より強くなろうとしています。本校においても同様に、学生目線を拠り所とし、できるだけ付加価値を付けた質の高い教育等のサービスの実現に人知を尽くしていただくことを期待しています。

今の人員と予算しかない訳ですが、大胆な着想と行動により教育の向上に全力を注げばきっと生き残れると信じております。

最後に、説教じみたことしか書いていないのは歳のせいと思ってください。

短い期間でしたが、大変お世話になりました。

心に浮かぶ身辺雑事を描く

リベラルアーツ系　草野 美智子

「見ざる・聞かざる・言わざる」とは処世術を教える三猿として有名ですが、「書かざる」がなかった理由は、文字が書けなかった庶民には縁遠い姿だったからでしょう。

ところが、熊本市の本妙寺には、筆を握った「論語猿」の祠があります。加藤清正のまねをして論語に朱を入れたところから、飼っている猿さえ聖賢の道を知ると清正の遺徳を伝えています。逸話に過ぎないかもしれませんが、明治の錦絵にも描かれているところを見ると、人間に劣った猿でさえ書けるものは書けたのです。

私も中年ですから、負けじと文章を書いてきました。少しも面白くありませんでした。今振り返って理由を考えてみると、「自分の欠点や駄目なところを人に見せたくなかった」「自分が得た知識や思想を書きたかった」「社会的に自分がどのようであるか（あったか）を話したがった」からだと気付きます。途方もなく自由と孤独になるこれからは、辟易するような教訓や演説ではなく、徒然なるままに「心に浮かぶよしなしごと」を思うまま、思いつくままに書いていきたいと思っています。

24年目に思うこと

生産システム工学系　木場 信一郎

学窓を離れて、一旦企業に身を置き、その後消えかけた研究意欲に「高温超伝導の発見」で火が付き、再び大学へUターンし修了後、本校に着任したのが24年前になります。就任の挨拶の中で、「研究を通した教育」など初心の話をしたのが、最近の事のような感じがします。

振り返ると最初の5年は、平穏な時が流れました。猛暑の夏に空調設備のない40℃に迫る教室で、我慢比べのような授業、研究に学生達とよく耐えた事ぐらいで済みました。その後は一変して、世情、環境の変化が押寄せ、本校でも独法化に始まり、高等教育機関認定制度、再編がやってきました。広範かつ連続的な変化への対応に疲れ果ててしまいそうになった時に、八代高専生として在籍した学生達や、大変革の最中に入学し、卒業していった熊本高専第一期生の両方に共通した、透明な明るさやストレートな遂行力など高専生独特のマインドに、私は随分救われました。特に専攻科生には、私の力不足を謝し、心より感謝いたします。

最後に熊本高専学生の皆さんの高専マインドに感謝し、今後に期待いたします。

教職員退職者一覧

定年退職者	
校長	荒木啓二郎
教授	※　小山　善文
事務部長	千葉　直樹
学務課長	※　永長　一平
技術長	※　俣村　英浩
総務課長補佐	※　佐藤智恵子

※ 4月から再雇用職員

再雇用期間満了退職者
田浦　昌純
木場信一郎
草野美智子
内山　愼一
草場眞由美
光永　清司
上杉　一秀

令和3年度の進路状況について（八代キャンパス）

キャリア教育推進室　道園 達也

本科卒業生、専攻科修了生の皆様、ご卒業ご修了おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましてもお慶びのことと存じます。心からお祝い申し上げます。

さて、今年度の就職活動は業界によっては新規採用の中止や縮小が見られたものの全体としては堅調に推移しました。前年度に引き続き説明会や面接がオンラインで実施された一方、対面形式の意義が再確認されています。インターンシップや大学・大学院説明会も同様で、以前に比べて進路決定に係るイベントの実施方法が多様化しています。この傾向は今後ますます進展すると予想されます。

そのような状況において、より一層問われるのは一人ひとりの主体性です。例えばオンラインでの合同企業説明会は事前にエントリーした学生のうち、実際の参加者は多くて6割程度のようです。自宅等で参加できる手軽さがある反面、参加しないのも容易だからです。情報を得るためには目的をもって自ら積極的に行動する力が必要です。主体的行動力は就職先の企業や団体でも、進学先の専攻科・大学・大学院でも一人ひとりに求められる能力のひとつです。

卒業生・修了生の皆様が心身共に健やかに、それぞれのキャリアを歩まれますように。ご活躍を心から祈念申し上げます。

令和3年度の進路状況について（熊本キャンパス）

キャリア教育推進室　中島 栄俊

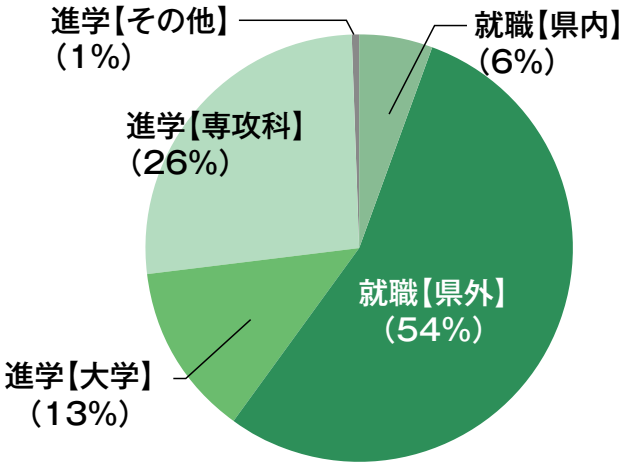
本科卒業生ならびに専攻科修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては心よりお慶び申し上げます。

今年度の熊本キャンパスの進学・就職状況を次項の表にまとめております。まず就職についてですが、コロナウイルス感染の影響で求人に大きな影響がでることも懸念されましたが、昨年度同様、今年度につきましても例年と比べ大きな変化はなかった（本科および専攻科からの就職がそれぞれ76名と20名）ように思います。就職活動は前年度同様、面接等の試験の多くがオンラインで行われましたが、学生の皆さんは十分に対応できたのではないかと思います。皆さんの多くは希望就職先から内定を勝ち取り4月から社会人として活躍していくことになります。入社後もコロナウイルスの影響で会社に馴染むのに苦労することもあるかもしれませんが、焦らず一歩ずつ前に進んでほしいと思います。

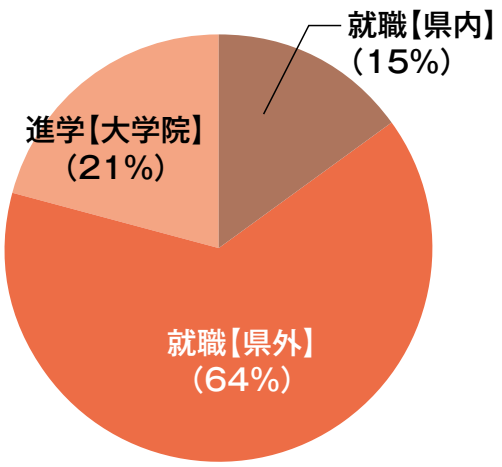
次に進学についてですが、本科生の進学が44名（うち熊本高専専攻科進学が29名）、専攻科生の大学院進学は9名となっています。本校の進学者数は大きく変動しておりませんが、他高専の進学者数が増加したせいか、各大学における倍率が若干上がっているような印象を受けております。進学先ではより専門性の高い知識の習得と応用が必要になると思いますので、努力を積み重ね、高度な技術の習得と研究活動を行ってほしいと思います。

皆さんの次のステップでのご活躍とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

■令和3年度本科卒業生の進路割合



■令和3年度専攻科修了生の進路割合



（令和4年1月現在）

■令和３年度本科卒業生・専攻科修了生進学先一覧

（令和4年2月現在）

学科名 専攻名 大学名等 大学院名	本科						専攻科		合計
	熊本キャンパス			八代キャンパス			熊本キャンパス	八代キャンパス	
	情報通信エレクトロニクス工学科	制御情報システム工学科	人間情報システム工学科	機械知能システム工学科	建築社会デザイン工学科	生物化学システム工学科	電子情報システム工学専攻	生産システム工学専攻	
北見工業大学	1								1
長岡技術科学大学						2			2
北陸先端科学技術大学院大学							1		1
筑波大学	1								1
筑波大学大学院							2	1	3
東京大学大学院							1		1
東京農工大学						1			1
豊橋技術科学大学	1				1	2			4
奈良先端科学技術大学院大学							2		2
京都工芸繊維大学			1						1
島根大学				1					1
広島大学大学院								1	1
九州大学			1			1			2
九州大学大学院							2		2
九州工業大学	1		2						3
佐賀大学	1		1						2
熊本大学		2			2	2			6
熊本高専専攻科	9	11	9	19	7	6			61
宮崎大学		1							1
宮崎大学大学院							1		1
鹿児島大学		1		1	1	1			4
Bachelor of Electronic Engineering Technology (Medical Electronics) with Honours, University Kuala Lumpur		1							1
九州デザイナー学院九州校				1					1
合計	14	16	14	22	11	15	9	2	103

■令和３年度 本科卒業生・専攻科修了生就職先一覧

（令和4年2月現在）

学科名 専攻名 企業名等	本科						専攻科		合計
	熊本キャンパス			八代キャンパス			熊本キャンパス	八代キャンパス	
	情報通信エレクトロニクス工学科	制御情報システム工学科	人間情報システム工学科	機械知能システム工学科	建築社会デザイン工学科	生物化学システム工学科	電子情報システム工学専攻	生産システム工学専攻	
AJS		1							1
D-HORIZON		1							1
DIC						1			1
ENEOS						3		1	4
JNC				1					1
KDDIエンジニアリング	1								1
KMバイオロジクス		1				2			3
KSF							1		1
Lib Work								1	1
NECネッツエスアイ		1	1						2
NECファシリティーズ					1				1
NHKテクノロジーズ			1						1
NOK	1								1
NTTインフラネット					2				2
NTTデータソフィア	1		2						3
NTTファシリティーズ九州								1	1
NTTフィールドテクノ	1								1
NTTロジスコインフォメーションサービス							1		1
P&G						1			1
SCREEN SPE テック							1		1
SRD							1		1
TBSアクト	1								1
TDCソフト			3						3
YKKAP				1					1
アーキサイト								1	1
アイ・エス・ビー	1	1	1						3
アイシン・ソフトウェア		1	1						2
アイフォーコム			1						1
アイリスオーヤマ		1		1					2
アルファシステムズ	1		1						2
今治造船		1							1
イリア								1	1
インターネットイニシアティブ							1		1
宇宙技術開発								1	1
エム・エムブリッジ								1	1
エム・ソフト			1				1		2
応用電機				1				1	2
オークマ				1					1
オートテクニックジャパン								1	1
オムロン							1		1
鹿島クレス					1				1
ガスエンジニアリング九州				1					1
カラビナテクノロジー				1					1
関西電力	1								1
ガンバリオン			1						1
キヤノンマーケティングジャパン	1								1
キヤノンメディカルシステムズ		1	2						3
九州テン	1								1
九州電子							1		1
九州電力	1								1
京セラ			1						1
京セラコミュニケーションシステム	1								1
キリンビール						1			1
熊本県								1	1
熊本県警察			1						1
建設プロジェクトセンター								1	1
建装工業					2				2
向洋電機		1							1
国土交通省九州地方整備局					1				1
サントリーホールディングス			1						1
シマノ				1					1
ジュピターテレコム	1								1
住友電気工業		1							1
住友電設	1								1
住友不動産					1			1	2
住友林業					1				1
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング							2		2
ソフトウエアビジョン		1	1						2

学科名 専攻名 企業名等	本科						専攻科		合計
	熊本キャンパス			八代キャンパス			熊本キャンパス	八代キャンパス	
	情報通信エレクトロニクス工学科	制御情報システム工学科	人間情報システム工学科	機械知能システム工学科	建築社会デザイン工学科	生物化学システム工学科	電子情報システム工学専攻	生産システム工学専攻	
ソフトサービス							1		1
ソフトバンク							2		2
第一三共ケミカルファーマ						1			1
第一三共プロファーマ						1			1
大日精化工業						1			1
太平洋コンサルタント					1				1
龍野情報システム		1							1
タマディック		1							1
中外製薬工業	1					2			3
中部電力	1								1
ディスコ							1		1
テラダイン	1								1
電源開発	1								1
東海旅客鉄道（JR東海）	1				1		1		3
東京エレクトロングループ	1						1		2
東芝インフラシステムズ		1							1
東芝プラントシステム	1								1
東洋建設					2				2
東レ	1								1
トーテックアメニティ				1				2	3
ドコモCS九州	2								2
戸田建設					1				1
凸版印刷	1		1						2
酉島製作所				1					1
西崎通信建設				1					1
西日本高速道エンジニアリング九州	1	1			1				3
西日本高速道路					1				1
西日本高速道路ファシリティーズ					1				1
日産オートモーティブテクノロジー		1							1
日本放送協会（NHK）	1								1
日本アルゴリズム							1		1
日本港湾コンサルタント					1				1
日本触媒						2		1	3
日本ピーエス					2				2
日本ビジネスエンジニアリング			1						1
日本マイクロバイオファーマ						1			1
ニュージェック					1			1	2
パシコン技術管理					1				1
パナソニックアプライアンス社			1	1					2
パナソニックシステムソリューションズジャパン		1							1
日立ビルシステム		1							1
ファナック		1							1
不二製油						1			1
富士フイルムビジネスイノベーションジャパン								1	1
藤本和想建築								1	1
ベアールートシステム	1								1
本田技研工業	1								1
マツイカガク						1			1
松尾建設					1				1
三井化学						1			1
三井化学分析センター						1			1
三井住友建設					1				1
三井ハイテック				1					1
三井三池製作所				1					1
三菱地所コミュニティ					1			1	2
三菱地所レジデンス								1	1
ミライト		1							1
ミライト・テクノロジーズ	1								1
村上建設					1				1
明電舎				1					1
名南製作所				1					1
メンバーズ							1		1
安川電機							2	1	3
八代市					1			1	2
ラック	1								1
ローム・アポロ		1		1					2
ワイズ・リーディング			1						1
合計	31	22	23	17	27	20	20	22	182

九州沖縄地区高専弓道大会を通して

人間情報システム工学科　3年　田中 勇翔

コロナという最悪の災害に巻き込まれて約2年となりました。その決していいとは言えない状況の中で私たち弓道部は九州沖縄地区高専弓道大会にて団体戦準優勝、私個人としても個人戦準優勝の記録を収め全国大会出場という目標を達成することができました。

コロナ禍以前、私は毎日練習していました。しかしコロナが流行しだしてからは学校、地域の弓道場どちらも使えず練習のできる環境がなくなってしまいました。一時は環境がなくなったことに対する不満ばかりでしたが、このまま不満ばかりでは何も変わらないと思い、家でもできる練習を始めました。家でもできる練習といっても弓も矢も使えるわけではなく他のスポーツで言う素振りのようなことしかできませんでした。その状況で約5か月を過ごし、その後も度々ある自粛期間で同じ練習をしていました。

結果的にその期間の練習が功を奏し九州沖縄高専大会の結果につながったと思います。このコロナ禍でこれだけの結果を出せたことは部にとっても個人的にも良い経験になりました。全国大会では良い結果は出せませんでしたが、この経験を来年につなげていきたいと思います。

共に戦った高専大会

生物化学システム工学科　5年　前田 幸輝

バドミントン競技は、11月中旬(13、14日)に、鹿児島県にて九州高専大会の代替試合が開催されました。本来であれば全国につながる大切な大会であったのですが、去年に引き続き新型コロナウイルスの影響で中止となり、結果的にメモリアルマッチの形で行われることになりました。練習においても、人数や場所の関係により、一人一人が満足のいく練習が実施できなかったことが多々あり、定期的にミーティングを行いました。その成果もあり、部活だけでなく、自宅や寮、部活以外の時間を使って個人練習を行ってくれる部員が増え、部活をよりコンパクトかつスムーズに行うことができました。

多くの不安を抱えたまま臨んだ高専大会でしたが、蓋を開けてみれば、男子が個人シングル優勝と3位、女子が団体優勝、個人ダブルス優勝、個人シングルス優勝と3位が2人という好成績を収めることができました。自分は入賞することができなかったのですが、ここまで仲間たちと一緒にやってこれたことが本当に楽しかったです。

これまで支えてくださった顧問の先生方、コーチ、先輩方、両親、そしてチームメイトには本当に感謝しています。5年間本当にありがとうございました。

全国高専大会に参加して

人間情報システム工学科　4年
剣道部主将　奈田 友樹

私たち熊本高専熊本キャンパス剣道部は、12月18日･19日に宮城県で行われた第56回全国高専大会剣道競技に参加しました。女子個人の部に渡邊野々香(HI5)、男子団体の部には前主将小森雄大(TE5)を含む1 ～５年生の7名のメンバーで出場し、初めて体験する東北の厳しい寒さの中で試合に臨みました。女子個人は延長戦の末1回戦敗退、男子団体は1勝1敗で予選リーグ敗退という結果でしたが、試合内容は決して悪いものではなかったと自負しています。

また、試合外での場面では東北に行くというなかなかない機会で、部員との絆を深めることができました。去年からのコロナ禍の影響で今年も新入生歓迎会が出来ず、出場が決まってからも全国大会までにメンバーが揃った状態で満足に練習もできない状態でした。密を避けるため全員での会食はできませんでしたが、遠征中のグループでの行動･食事を通してより皆仲良くなり、部全体の雰囲気も良くなったと思っています。

今回の大会を通して、部として、選手それぞれが個人として成長を感じつつ, 取り組むべき課題も見えました。九州沖縄地区高専大会優勝、全国高専大会入賞を目標に来年度も頑張っていきます。

全日本自転車競技マウンテンバイク選手権大会に参加して

機械知能システム工学科　５年　森下 尚仁

11月6日に千葉県千葉市の千葉公園で開催された全日本自転車競技選手権大会XCE種目に出場し優勝することができました。

XCE(クロスカントリーエリミネーター)種目はオフロードやオンロードのコースを4人1グループで2分ほどのレースを走り上位2人が勝ち上がっていくトーナメント形式のレースです。

この種目は普段している種目とは全然違い初めてのレースだったので何もかもわからないままスタートしました。TOP32を決める最初のタイムトライアルで5位/36人 に入りました。続く1/8決勝、1/4決勝もトップ通過することができ、1/2決勝は2位で決勝に勝ち上がることができました。想定外の結果、そして何よりこの日5本目のレースということで緊張と疲労困憊のまま決勝がスタートしました。第一コーナーでたまたま漁夫の利することができ先頭に立ちそのまま最後まで全力で踏み続けました。最後は数センチ差で勝利することができました。

今まで超えられないと思っていた壁もいざ越えてみると実は平らな道だったんじゃないかと思えました。

これから先何が正解かわかりませんが日々精進していきます。

高専ロボコンを終えて

制御情報システム工学科　3年
神代 昌太(ロボコン部)

10月17日(日)に高専ロボコン2021九州沖縄地区大会、11月28日(日)に全国大会が開催されました。今年のロボコンは、スゴ技を持ったロボットを作る「超絶機巧(すごロボ)」でした。

熊本キャンパスからは、人型ロボットが筋トレを行うAチーム「たけしくん」、ゴリラ型ロボットがバスケをするBチーム「ゴリラ3」の2チームが出場しました。地区大会の結果、Bチームが準優勝、そして悲願の全国大会出場を勝ち取りました。全国大会では理想の動きを見せることができませんでしたが、東京エレクトロン特別賞を受賞することができました。

私は部長、Bチーム設計として参加しました。失敗や力至らぬところがたくさんありましたが、他の部員や先輩方のおかげで何とか役割を果たせたと思います。ここ数年の低迷期を撥ね除け、心折れることなく力を蓄え続けた結果が今年出せたのだと思います。現状に満足せずこれから技術的にもチームとしてもさらに成長したいです。

担当顧問の先生方やOBを始めとするたくさんの方々のご協力と応援に感謝します。「熊本キャンパスロボコン部は強い」と他の高専から言われるくらい強い部活となれるようにこれからも部員一丸となって頑張ります。

ロボットコンテスト全国大会に参加して

機械知能システム工学科　3年　井本 結菜

11月28日(日)に東京都の両国国技館で開催された高専ロボコン2021全国大会に私達八代キャンパスロボコン部は、部で初となる2チーム同時出場を果たしました。2分間のパフォーマンスでAチームはサーカスと新体操を合わせたロボットショー、Bチームはロボットのドッグ･アジリティを行いました。大会では、ロボットの調整不足により完璧なパフォーマンスを披露することはできませんでしたが、両チームとも協賛企業特別賞を頂くことができました。

今回私はＡチームリーダーとして大会に参加しました。リーダーとしてのチームビルディングや進め方等、悩むこともありましたが、メンバーの支えもあり充実した活動をすることが出来ました。リーダーとして初めての経験をさせて頂いたこと、2チームそろっての全国大会出場という快挙に立ち会えたことに感謝しています。

今年で全国大会出場は4年連続となりました。この記録を継続するだけでなく、全国大会優勝やロボコン大賞を目指して、部員一同、これからも技術力の向上に努めていきます。

最後に、顧問の先生方、工場の先生方始めお世話になった方々、応援してくださった方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

プログラミング
コンテストに参加して

人間情報システム工学科　4年　野口 玄

今年度の全国高等専門学校プログラミングコンテストは、前年に引き続きオンラインで開催されました。活動は話し合いも含め、ほとんどの活動を遠隔で行いました。互いの反応が分からなかったり個々での作業が多くなってしまうなど、苦労することもありましたが、それぞれのメンバーが自分の出来ることを行い、本選当日に向けて開発や資料作成を進めました。私たちのチームの開発スケジュールは当初の予定から遅れることが多くあり、慣れない作業や開発の見通しを立てる困難さを痛感しました。この開発計画や選択した開発環境、フレームワークなど反省できる点は多く残ります。ですが、チームメンバー５人で協力して、私たちの精一杯をやり切ることができたのではないかと思っています。

また、競技部門のメンバーの３人で協力している姿勢はとても励みになりました。結果は自由部門で特別賞と企業賞をいただきました。数多いチームの中から私たちのチームが受賞し、活動の結果を分かりやすく残すことが出来てとても嬉しく感じます。また、作成物への様々な角度からの講評をいただくことが出来たことはチームメンバー全員のとても大きな経験になったのではないかと思います。

プログラミング
コンテストに参加して

機械知能システム工学科　2年　嶋中 海人

今年度の全国プログラミングコンテストは秋田県での開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で昨年度同様オンラインでの開催となりました。八代キャンパスの情報システム研究部からは自由部門に1チーム出場しました。

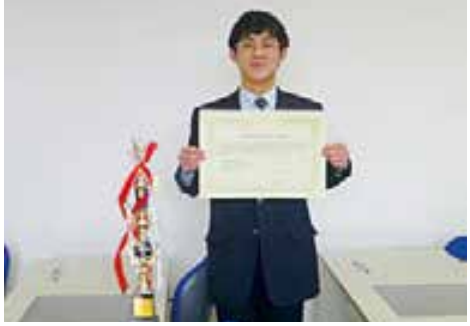
4月からチーム内でアイデアを練り上げ、自分達で見つけた課題を解決するためのアプリケーションを作成しました。私を含めた3名のメンバーがプロコン未経験のチームでしたが、チーム内の先輩方からプロジェクト管理のノウハウ、開発を円滑に進めるためのアドバイスをいただきながら活動を進めました。その他の資料作成やプレゼン練習も先生方やコーチの皆さんからのご指導を受け、最後まで取り組むことができました。

結果は敢闘賞でした。反省すべき点が沢山見えた今回の大会でしたが、準備、資料作成、開発、デモンストレーション等すべてが良い経験になりました。オンラインでの発表は対面以上に難しいものでしたが、課題部門や競技部門の発表も中継で視聴することができ、大変勉強になりました。日頃から情報分野を中心に積極的に学び、自分達が感じた改善点やいただいた講評、他高専から学んだことを受けて、部員一同今後の大会に臨んでいきます。

「英語プレゼンテーションコンテスト」に参加して

情報通信エレクトロニクス工学科　1年　岩﨑 恵樹

中学生のころ、英語は私の苦手科目でした。嫌いになると全く取り組もうとしない性格なので、「嫌いになってはいけない」と自分に言い聞かせながら勉強していました。それで、高専に入学した後も英語の学習を継続できるか、と言われると自信がなかったと思います。ですが、その考え方はいろいろなきっかけを通じて少しずつ変化していきました。その一つが「映画」です。そこでは登場人物がいろいろな感情をセリフなどで表現します。もともと音楽やミュージカルなどの舞台芸術にかかわりのあった私は、外国語の表現にも興味を持つようになりました。それで少しずつ英語に興味を持ち、そのタイミングで今回の募集を知りました。



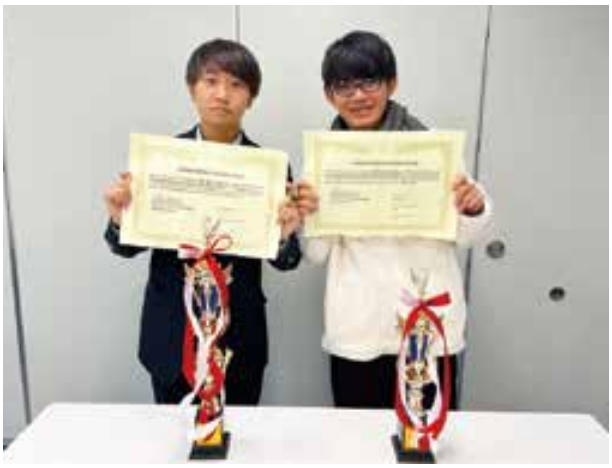
なれない言語で登場人物の心情を考えそれを形にしていくのは、私にはとても難しいことでした。さらに英語特有の発音や、身振りにも苦労しました。でも、それを自分なりに考えたことで、自分のなかで、外国語は「とても面白いもの」になりました。外国語はもちろん勉強の一つではありますが、同時に思いを伝える生きたツールだと思います。これからも大切にしていきたいです。

「次こそは」

機械知能システム工学科　3年　原田 龍汰

自分は九州沖縄地区英語プレゼンテーションコンテストで優勝し、全国大会に進むことが出来ました。1年生で参加した際は、入賞すらできなかったのもあり優勝するとは思ってもいませんでした。

九州大会と全国大会、どちらも練習と準備を入念に重ねていきました。3MIは後期から3限で終わる日が多くなったにも関わらず、その恩恵を受けないままひたすらに練習を行っていました。しかし、全国大会では入賞すら出来ませんでした。全国大会ともなると出場者のレベルが非常に高く、自分は今の段階では到底勝つことは出来ないと感じました。



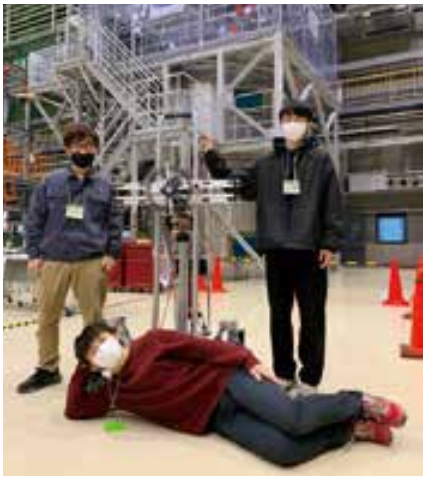
全国大会で優勝したのは、外国人の方でした。確かに、優勝した方の発音はきれいでジェスチャーや見せ方も非常に上手でした。しかし、自分はそこに日本人の限界のようなものを感じました。その方はネイティブではなく、自分もネイティブではありません。自分はとても悔しかったです。明らかに経験と努力における大きな差です。

もちろん、数年で自分の英語が飛躍的に改善されるとは思っていません。しかし、次こそは入賞できるよう、日々懸命に努力をしていきます。

最後に、岩下先生をはじめ多くの英語科の先生方に感謝申し上げます。

廃炉創造ロボコンに参加して

制御情報システム工学科　4年　堤 哲之介



2021年12月11日(土)、福島県楢葉町の日本原子力研究開発機構(JAEA)楢葉遠隔技術開発センターにて第6回廃炉創造ロボコンが開催されました。

今年のルールは、高い位置にある壁を除染することを模して、高さ3mに設置された画用紙にペンで色を塗るといった競技内容で、熊本キャンパスからチーム「除染王」のロボット「NULL」が出場し、円形の除染機構が独創的であると評価され、特別賞を受賞しました。

今回、メンバー 3人は日本の抱える「福島第一原発の廃炉」という難題に貢献できること、また、高専ロボコンとは違ったロボコンに挑戦したいという思いから廃炉創造ロボコンに参加しました。

メンバーのうち2人が今年度の高専ロボコンのリーダーを務めており、作業時間をなかなか確保できない中での製作でした。テストランにて競技課題を達成できなかったときは焦りましたが、高専ロボコンで培った対応力を発揮し、本番では画用紙に色を塗ることができました。

廃炉創造ロボコンは卒業研究として参加する5年生チームが多いので、来年5年生となる私たちもリベンジしようと意気込んでいるところです。

最後になりましたが、顧問の加藤先生をはじめ多くの方々にご協力いただいたことを心より御礼申し上げます。

「デザコン 2021 in 呉」に参加して

建築社会デザイン工学科　5年　光永 周平

今回、「住み継がれる住まい」がテーマであったデザコンの空間デザイン部門において最優秀賞を頂くことができました。

私たちは、い草農家を住み継いでいくことに焦点を当て、現代社会の問題を踏まえた新しいい草業・い草農家のかたちを提案しました。後継者不足などい草農家が抱える問題を建築で解決することは容易ではなく、設計案を一度白紙に戻したりするなど、試行錯誤の末、ようやく最終的なかたちに辿り着くことができました。この設計を通して現実問題を解決することの難しさを痛感しました。

呉で行われた本選では、予選を通過した12作品が、プレゼンテーションを行い審査員からの質疑に答えディスカッションを行いました。どの作品もクオリティが高く、また「住み継がれる住まい」というテーマへのアプローチの仕方が多種多様で、新しい建築の考え方や表現の仕方などを学ぶ機会にもなりました。加えて、著名な建築家と直接、議論を交わすことができ、多くの刺激を貰いました。

最後に、4月から半年以上挫けずに設計に取り組み最優秀賞を獲得できたのは、一緒に議論を重ねてきたグループのメンバーや、ご指導頂いた先生方のおかげです。本当に感謝しています。ありがとうございました。

国立高等専門学校体育大会等結果一覧

第58回九州沖縄地区高専大会（代替大会）

競技名	キャンパス	種目名	選手氏名	順位
バドミントン	八代	男子団体	前田　幸輝	3位
			井村　文哉	
			新山　涼太	
			米本　壮汰	
			田上　梨緒	
			冨田　悠一朗	
			向山　大翔	
			小嶋　光	
	八代	男子シングルス	田上　梨緒	優勝
			新山　涼太	3位
	八代	女子団体	竹隈　光紀	優勝
			沖田　梓帆	
			中島　朝陽	
			溝上　真琴	
			竹下　ほのか	
			小森田　夏実	
			西村　羽誕	
	八代	女子シングルス	竹下　ほのか	優勝
			竹隈　光紀	3位
			小森田　夏実	
	八代	女子ダブルス	竹下　ほのか	優勝
			小森田　夏実	
バスケットボール	八代	女子	宮崎　芽衣	準優勝
			宮本　紗希	
			平田　菜々	
			三笠　華凜	
			倉形　美羽	
			大和　咲桜	
柔道	八代	個人戦 81kg 以下級	古閑　柊平	3位
ハンドボール	八代	男子	渕上　玲央	3位
			髙尾　勇琉	
			下鶴　尚輝	
			田中　史大	
			長濱　悠都	
			平田　郁人	
			五十川　照真	
			井本　恵斗	
			加藤　怜	
			緒方　空	
陸上	八代	男子 800m	水田　悠人	3位
		男子 5000m	橋口　穣	1位
		男子 5000m	田尻　大遥	3位

第56回全国高等専門学校体育大会

競技名	キャンパス	種目名	選手氏名	順位
バドミントン	八代	女子団体	沖田　梓帆	優勝
			中島　朝陽	
			渡邉　莉奈	
			竹下　ほのか	
			小森田　夏実	
			西村　羽誕	
水泳	熊本	200m 自由形	大田　遥葵	2位
		400m 自由形	大田　遥葵	優勝

第７回九州沖縄地区高専弓道大会

競技名	キャンパス	種目名	選手氏名	順位
弓道	熊本	男子団体	髙細工　彩斗	準優勝
			古家　理史	
			野中　華輝	
			中川　瞭	
			田中　勇翔	
		男子個人	田中　勇翔	準優勝

第26回西日本高等専門学校駅伝競走大会

競技名	キャンパス	種目名	選手氏名	順位
駅伝	八代	男子	岡本　拓未	優勝
			森下　尚仁	
			田尻　大遥	
			椎葉　亮太	
			橋口　穣	
			中村　颯太	
			水田　悠人	

高専ロボコン2021九州沖縄地区大会

キャンパス	チーム・ロボット名	選手氏名	順位
八代	A チーム「AquaMarine（アクアマリン）」	井本　結菜	優勝
		内園　乙乃	
		日迫　友也	
熊本	B チーム「ゴリラ３（ゴリラサンジョウ）」	中村　祐響	準優勝
		堤　哲之介	
		神代　昌太	

高専ロボコン2021全国大会

キャンパス	チーム・ロボット名	選手氏名	順位
熊本	B チーム「ゴリラ３（ゴリラサンジョウ）」	中村　祐響	特別賞（東京エレクトロン株式会社）
		堤　哲之介	
		神代　昌太	
八代	A チーム「AquaMarine（アクアマリン）」	井本　結菜	特別賞（マブチモーター株式会社）
		内園　乙乃	
		日迫　友也	
	※推薦枠出場 B チーム「RUN ONE わん!（らん わん わん!）」	井山　椋太	特別賞（ローム株式会社）
		中野　陽斗	
		馬越　航	

第18回全国高専デザインコンペティション(デザコン2021in呉)

キャンパス	【部門】作品名	選手氏名	順位
八代	【空間デザイン部門】「い草と人のよりどころ」	光永　周平	最優秀賞
		竹隈　光紀	
		園田　朝陽	
		長濱　悠都	

第32回全国高等専門学校プログラミングコンテスト

キャンパス	【部門】作品名	選手氏名	順位
熊本	【自由部門】「五七 GO ―赴くままに趣を―」	野口　玄	特別賞
		甲斐　主陸	
		九谷　春人	バンダイナムコスタジオ企業賞
		生田　愛	
		光永　尚人	
八代	【自由部門】「YOAMANE ― AI が学生のスケジュール管理をアシスト―」	嶋中　海人	敢闘賞
		松永　俊輔	
		古川　照英	
		緒方　亮太	
		藤田　龍之介	

第6回廃炉創造ロボコン

キャンパス	ロボット名	選手氏名	順位
熊本	「除染王」	笹原　征南	特別賞（株式会社アトックス）
		中川　岬	
		堤　哲之介	

第1回全国高専宇宙コンテスト

キャンパス	作品名	選手氏名	順位
熊本	「超小型衛星に対する森林減少観測プログラムの実装」	下石　龍生	敢闘賞
		入江　真翔	
		Sharma Saurabh	
		入江　悠宇	
		小嶺　龍生	

第54回九州沖縄地区英語プレゼンテーションコンテスト

キャンパス	【部門】	選手氏名	順位
熊本	【暗唱部門】	岩﨑　恵樹	優勝
八代	【プレゼンテーション部門】	原田　龍汰	優勝（全国大会出場）
		宮田　優作	3位
	【チーム部門】	鍬田　健人	全国大会出場
		小林　未歩	
		嶋中　海人	

第34回全日本自転車競技選手権大会ーマウンテンバイク XCC/XCE

キャンパス	種目名	選手氏名	順位
八代	クロスカントリー・エリミネーター男子エリート	森下　尚仁	優勝

熊本県秋季選手権水泳競技大会（令和３年10月）

競技名	キャンパス	種目名	選手氏名	順位
水泳	熊本	400m 自由形	大田　遥葵	3位

熊本県春季選手権水泳競技大会（令和４年１月）

競技名	キャンパス	種目名	選手氏名	順位
水泳	熊本	400m 自由形	大田　遥葵	優勝

明和寮国際棟の活用

寮務主事（熊本キャンパス）
島川　学

令和3年9月、多くの来賓の方々にご出席いただき、国際寮の落成記念式典が挙行されました。急速な社会経済のグローバル化に伴い、語学力・異文化理解力・リーダーシップ・マネジメント力を備えた、産業界のニーズに応えるグローバルに活躍できる技術者の育成が高専に求められており、その取り組みの一環として国際寮が設置されました。

熊本高専の国際寮は、熊本キャンパスの明和寮国際棟として10月から運用が始まっています。国際棟には10個のユニットがあり、各ユニットの定員は6～7名です。そこでは日本人学生と留学生が同じ生活空間を共有して生活をしています。短期留学生が来ているときには英語が共通語となります。海外に行かなくても、日常生活の中で国際交流ができる環境がここにあります。

今後は、様々なプログラムを通じて、熊本高専の学生全員に利用してもらえる施設として活用されることでしょう。

国際寮で生活してみて

制御情報システム工学科
3年　入江 真翔

10月から国際寮で生活してみて以前の寮生活から劇的に変化したと思います。以前の寮生活ではcovid-19の影響もあり完全個室での生活で友達と会話をすることが少なくなっていました。生活環境が変化してルームメイトと多くの時間を一緒に過ごすようになり、映画を見たり一緒に勉強したりすることができ、国際寮に入ったことで有意義な時間が増えたと思います。特に勉強に関してはルームメイトで技術アイデアコンテストに参加することもあり、交流を深めるとともに、学びを深めることが出来たので楽しかったです。また日常生活では留学生がルームメイトにいる中で様々な異文化交流を行うことが出来たと思います。留学生の地元のお菓子を食べさせてもらうなど面白い経験をすることが出来ました。

国際寮で生活してみて

制御情報システム工学科
3年　シャルマソウラブ

インド出身のシャルマソウラブです。現在、熊本高専で3年生として勉強しており、日本人学生と一緒に国際寮でお互いの文化に触れあいながら楽しい日々を過ごしています。国際寮生活を始めてまだ4ヶ月ちょっとですが、学んだことがたくさんあります。まず、国際寮で日本人学生と一緒にインドと日本料理をしたり、映画を見たりして、たくさんの友達を作ることができました。また、お正月で友達の家でホームステイして初詣行ったり、温泉行ったり色んなことをすることで日本文化の理解を深めました。最後に、日本人学生と日常的に会話することで日本語のコミュニケーション力も上達することができました。以上により、日本人学生との交流が深まりました。国際寮で送る事になった生活は私の人生において大きな糧となってくれるのではないかと思います。

諸だより

保健室より

熊本高専　熊本キャンパス　保健室　中西博子

ご卒業・修了おめでとうございます。
コロナウイルス感染症の流行によって、大きく世の中が変動して、皆さんの生活スタイルも変化してきました。
感染症の波が来るたびに、制限された生活スタイルは、ストレスの連続だったことでしょう。
先の見えないトンネルにいるような感覚になった方もいるのではないかと思います。
学校で一生懸命に学んで技術者として身につけたスキルは、今後の時代を生き抜くすべとして力になることと思います。今後のご活躍をお祈りしています。
はなむけの言葉として『雲外蒼天』という言葉をお贈りします。
雲の上遥か彼方の空は、青々とした大空。風雪を耐えて雲の上を通り抜ければ、美しい青空が広がっている。
辛いことや試練を乗り越えれば、明るく素晴らしい世界が待っている。と言うことを表しています。
生きていく上でこころと身体の健康のためには、ストレスとうまくつきあって生活を楽しみましょう。
健康の秘訣は、自分に合うストレス解消方法をみつけること
【ストレス解消方法】自分に合うストレス解消方法を見つけ、上手にストレス発散を行うのが健康の秘訣です
☆朝日を浴びる→脳を覚醒させ心身の「体内時計」リズムが回復します。メラトニン（睡眠ホルモン）分泌促進
☆体を動かし気分爽快→散歩、ジョギング、ストレッチ、ヨガ、ダンス、太極拳、エアロビクスなど
☆五感に働きかけ心身を癒しましょう→視覚：映画や読書、旅行、テレビ、アニメ、森林浴など
味覚：おいしいものを食べる。飲む。好きなものをバランスよく食べると幸せな気分になれます。暴飲暴食は避けましょう
聴覚：音楽を聴く、演奏する。おしゃべりをする
嗅覚：アロマテラピー、お香を焚く、深呼吸をしてリラクゼーション
触覚：入浴や足浴、温泉めぐりなど
☆ぐっすり眠りましょう！脳と体の疲れが取れ、イラつきや悩みも緩和されます。快眠は、一番のストレス解消方法です

学生支援室より

八代キャンパス学生支援室長　四宮一郎

卒業生・修了生の皆さん、おめでとうございます。在校生の皆さん進級おめでとうございます。今後も目標に向かって進んでください。今後の皆さんの活躍に期待しています。

さて、現在の社会状況を見てみると、昨年度より新型コロナウイルス感染症の拡大により新しい生活様式が求められてきました。生活の中で様々な場面で制限があり、皆さんもこれまでにない多くのストレスを抱えたことと思います。最近になって少しは制限が緩和されたとはいえ、まだまだ以前の生活に戻るには時間がかかりそうです。

新たな環境の中で生活を送ると不安や悩みを抱えることもあるでしょう。そのようなときは一人で抱え込まずに誰かに相談してみましょう。友人や家族、先生でもいいでしょう。話を聞いてくれる人に相談してみましょう。友人や家族、先生に話しにくいということであれば学生支援室を利用してみませんか。学生支援室には、SSW（スクールソーシャルワーカー）やSC（スクールカウンセラー）が定期的に来校されています。気軽に遠慮なく何でも相談してみましょう。また、各学科に相談員の先生方もおられます。話を聞いてもらうことで気持ちが楽になることもあります。ぜひ利用してください。私たち学生支援室も全力で皆さんをサポートしていきます。

熊本高専「明和寮国際棟」落成記念式典を挙行しました。

令和3年9月29日(水)、熊本キャンパスにて、明和寮国際棟 落成記念式典を挙行しました。式典は、新型コロナウイルス感染対策を徹底のうえで実施しました。

国際棟は、「令和新時代の機能高度化プロジェクト」に基づき、全国高専の施設整備の一環として設置されたものです。建物は、鉄筋コンクリート造りの3階建てで、テレビ共通受信設備、監視カメラ、防犯・入退室管理システムなどの設備を有しています。1階には、学生同士の多様な活動がアクティブに行えるようラーニングスペースを設け、1階から3階までの寮室は、積極的に国際交流を図るため混住型寮室となっています。

式典においては、県内の行政・教育機関並びに多くの本校関係企業等にご参加いただき、文科省大臣官房文教施設企画・防策部計画課長、熊本県知事からのお祝いメッセージ及び独立行政法人国立高等専門学校理事長からのお祝いビデオメッセージが披露されました。

また、熊本県の営業部長兼しあわせ部長のくまモンも熊本県知事からのお祝いメッセージを持って駆けつけ、式典に華を添えてくれました。

© 2010 熊本県くまモン　撮影日：2021年9月29日

八代キャンパスにて、キャリア研修会を実施しました。

令和3年12月11日(土)、八代キャンパスにて「キャリア研修会」を開催し、午前の部70社・午後の部70社の計140社にご参加いただきました。本校からは、本科3・4年生および専攻科1年生の全員と、他学年の希望者が参加しました。

卒業生を含む企業の皆様のお話を聞くことで、学生にとって自らのキャリアを考える上で貴重な機会となりました。ご参加いただいた企業の皆様に厚く御礼申し上げるとともに、今後とも引き続きご支援いただきますよう、心からお願い申し上げます。

協定校 PCSHS Loei 校の 1 年生と国際交流を行いました。

令和3年12月14日(火)、本校1年生が国際協定校のタイ王国Princess Chulabhorn Science High Schools、 Loei (PCSHS Loei)校の1年生と英語の授業内でオンライン国際交流を行いました。

学生達らしく、漫画やアニメ、ゲームなど身近な文化やお互いの学校について英語で紹介しあい、後半はオンラインツールも駆使しながら、コロナ感染症への対策をテーマに、生活の中で変わったこと、お互いの国での感染対策や、コロナによって生まれた技術などについて情報交換しました。

交流会の初めこそ緊張気味の様子もみられましたが、最後にはお互いの連絡先を交換しあい、すっかり打ち解けた様子でした。90分の授業1コマはあっという間だったようです。

多くの1年生にとって初めての国際交流の機会でしたが、海を越えた友情がこれからも続いていくことを期待しています。

熊本高専に関する最新のニュースは、熊本高専の公式 Web サイト https://kumamoto-nct.ac.jp/ をご覧ください。

行事予定 Event Calendar 2022

4月▶10月（令和４年２月現在）

熊本キャンパス

4月

5日(火)	入学式
6日(水)	始業式・新入生オリエンテーション
7日(木)	授業開始
29日(金)	授業参観・奨学後援会総会・保護者懇談会・寮生保護者会総会

5月

9日(月)～10日(火)	春季クラスマッチ
12日(木)～13日(金)	新入生合宿研修
20日(金)	専攻科推薦選抜検査（電子情報システム工学専攻）

6月

3日(金)～6日(月)	高校総体
9日(木)～15日(水)	前期中間試験
17日(金)	専攻科学力選抜検査（電子情報システム工学専攻）
25日(土)～26日(日)	九州・沖縄地区高専体育大会

7月

1日(金)～25日(月)	九州・沖縄地区高専体育大会
22日(金)	本科編入学者選抜検査
22日(金)～28日(木)	前期定期試験（本科・専攻科）

8月

7日(日)	オープンキャンパス
8日(月)～9月30日(金)	夏季休業

9月

10月

3日(月)	後期授業開始

八代キャンパス

4月

5日(火)	入学式
6日(水)	始業式・ICTセンターガイダンス
7日(木)	授業開始
21日(木)～22日(金)	新入生合宿研修
29日(金)	授業参観・保護者懇談会・後援会総会・寮生保護者懇談会

5月

17日(火)	球技大会
20日(金)	専攻科推薦選抜検査（生産システム工学専攻）

6月

3日(金)～6日(月)	高校総体
2日(木)～8日(水)	前期中間試験
17日(金)	専攻科学力選抜検査（生産システム工学専攻）
25日(土)～26日(日)	九州・沖縄地区高専体育大会

7月

1日(金)～25日(月)	九州・沖縄地区高専体育大会
22日(金)	本科編入学者選抜検査

8月

1日(月)～5日(金)	前期定期試験（本科・専攻科）
7日(日)	オープンキャンパス
11日(木)～9月25日(日)	夏季休業
29日(月)～9月2日(金)	保護者懇談会（個人面談）

9月

26日(月)	後期授業開始

10月

※行事予定については変更になることもございますので、 最新の予定一覧（本校公式Webに掲載）をご確認ください。

熊本高専だより 2022.SPRING No.32

【発行】広報戦略室 令和４年３月

編集後記

新型コロナウイルスの影響が続く中、「熊本高専だより」（春号）を発行することができました。

大変な状況下で卒業生・修了生となられた皆様にとって在学中のことを思い出すきっかけの1つとなれば幸いです。

最後になりましたが、ご協力いただいた全ての皆様に心より感謝いたします。

熊本高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Kumamoto College

熊本キャンパス
〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2
TEL 096-242-2121

八代キャンパス
〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
TEL 0965-53-1211

https://kumamoto-nct.ac.jp/

たゆまぬ挑戦，飛躍の高専！
2022 高専制度創設60周年